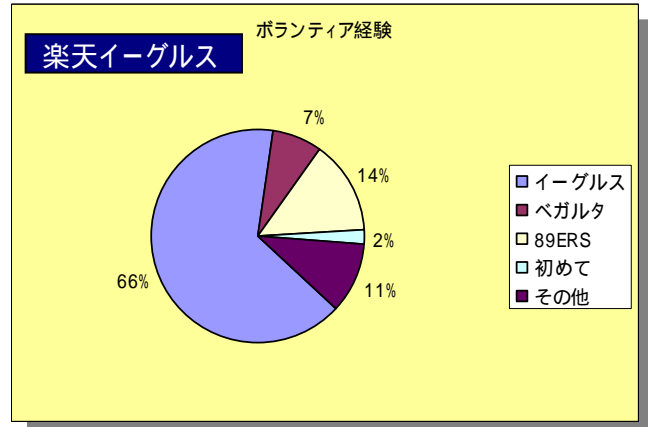
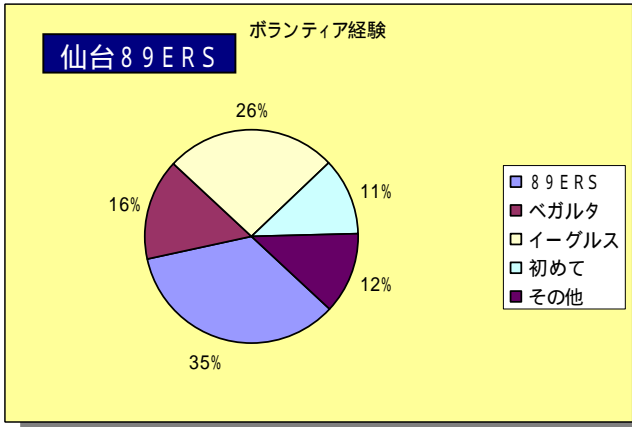




スポーツボランティアアンケート結果

2007年9月のプロバスケットボール「仙台89ERS」のボランティア説明会と、2008年2月のプロ野球「楽天イーグルス」のボランティア説明会において、SV2004では当日の参加者に対し、各チームと連携し「ボランティア・アンケート」を実施しました。その結果から見てくるそれぞれの特色、そして取り組むテーマをまとめました。

質問 1 スポーツボランティアの経験は < 複数回答可 >



質問の狙い

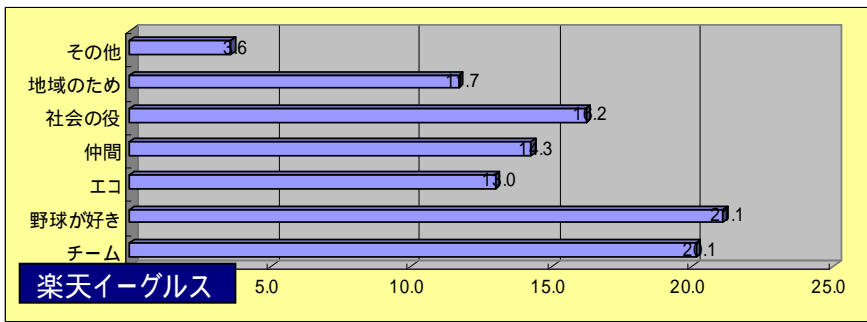
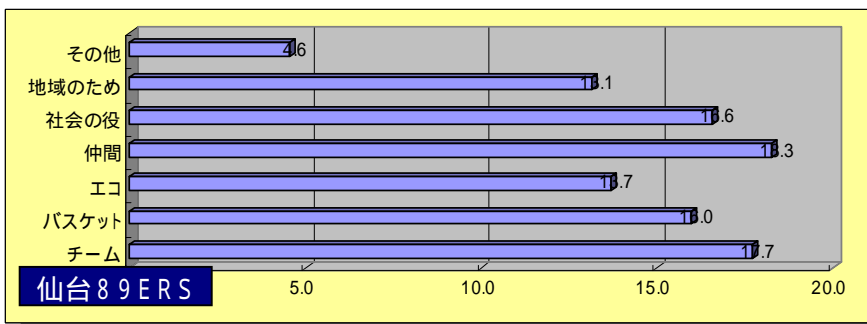
宮城には5つのスポーツボランティア組織が活動しており、年々複数の活動に参加する人が増えていることから、この実態を調査しました。いかに継続率を高めるか、ともに考え改善していきたいところです。

89ERS ボランティア調査 … 活動シーズンの違いを反映し他のボランティア活動の経験者が多くなっています

- ・ 前年からの継続率が低く、反面新規の活動希望者が比較的多くなっています。
- ・ 楽天イーグルス、ベガルタ仙台の活動経験者の割合も高くなっています。

楽天イーグルスボランティア調査 … 89ERSとの補完関係があります。

- ・ 継続率が高く、反面新規のボランティア参加者が少ない状況です。
- ・ 89ERSの経験者が多く、相互補完の関係がうかがえます。



質問の狙い

参加の動機を知ることで、どう取り組むことでボランティアの満足度が高まるかの参考にしたいと思います

仙台89ERS

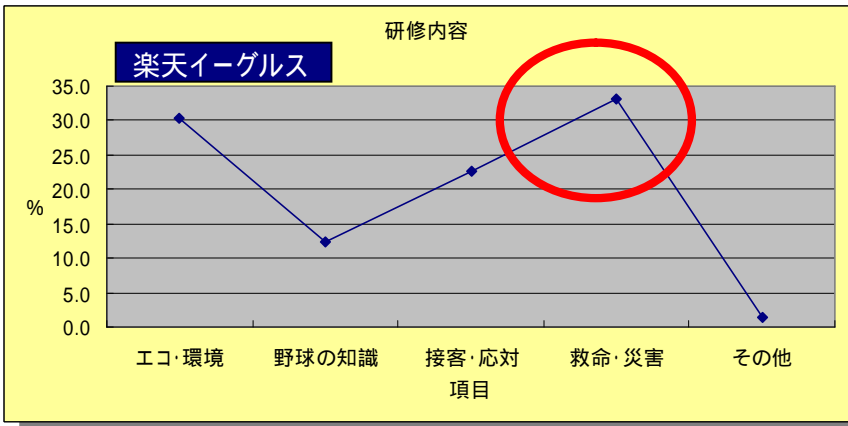
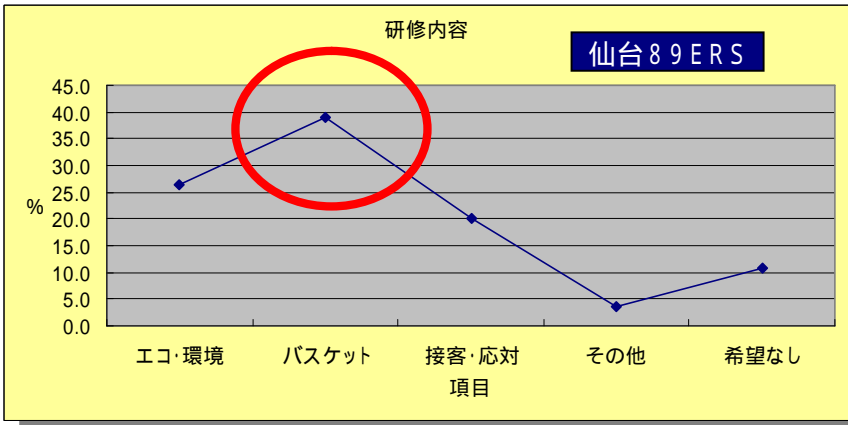
- ・ 仲間と活動するのが楽しいから
- ・ チームが好きだから
- ・ 社会の役に立ちたいから

楽天イーグルス

- ・ 野球が好きだから
- ・ チームが好きだから
- ・ 社会の役に立ちたいから

参加の動機は人それぞれ、いいコミュニケーションを作ることが、大切になります。

質問3. どのような研修を希望しますか <複数回答可>



質問の狙い
ボランティアのモチベーションを高めるために、希望する研修を実施する目的で質問しました。
<89ERSでは救命・災害の項目は無しでした>

仙台89ERS
・バスケットボールの基礎知識が約4割とトップです
・次いで「エコ・環境」「接客・応対」でした
楽天イーグルス
・トップは「救命・災害」、ゲーム数の多さ、活動時間の長さが影響が
・「エコ・環境」「接客・応対」の順でした

ボランティアの年代や性別の構成の違いを反映し対照的な結果となりました。この希望をいかした研修を今後チームと連携し企画するとともに、継続的に調査を行うことでトレンドをみていきたいと思えます。

年齢構成

	年代						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70以上
仙台89ERS	5.5	15.1	11.0	11.0	13.7	32.9	11.0
楽天イーグルス	0.0	6.2	7.8	10.1	17.8	39.5	18.6

スポーツの種目の違いか、バスケットボールでは10代から満遍なくボランティアが活動しているのに対し、野球では60歳以上が58%と過半数を占めています。年代の中心はどちらも60代となっています。

性別

	性別	
	男性	女性
仙台89ERS	52.1	47.9
楽天イーグルス	71.7	28.3

バスケの仙台89ERSは男女がほぼ半分となっているのに対し、野球は圧倒的に男性の比率が高くなっています。野球ボランティアの年代構成が高いことから、少年時代の野球経験者が多いと考えられます

居住地は <上段:仙台89ERS / 下段:楽天イーグルス>

居住地											
太白	青葉	宮城野	若林	泉	岩沼	名取	多賀城	塩釜	利府	富谷	その他
24.7	28.8	6.8	4.1	21.9	2.7	1.4	0	0	0	1.4	8.2
17.8	17.1	26.4	7.8	15.5	2.3	1.6	0.8	2.3	1.6	2.3	4.7

バスケットではゲームの拠点となる仙台市体育館(太白)と青葉体育館(青葉)の関連で「太白区・青葉区」が多く、次いで「泉区」となっています。これはサッカーのボランティア経験者が多く参加していることと地下鉄による交通機関の整備の影響がうかがえます。

野球ではKスタの地元である「宮城野区」が多く、ここでも地下鉄沿線からの参加率が高くなっています。課題として地下鉄沿線以外や仙台市以外からのボランティア参加率アップが共通してあげられます。

まとめ

スポーツボランティアに関する情報は決して豊富とはいえません。このため、チームやSV2004の活動の参考としてこの調査を行いました。協力していただいた多くのボランティアの皆様へ感謝するとともに、この情報を生かした活動や改善を大切にしていきたいと思えます。合わせて、毎年継続的に実施することで、ボランティアの変化にも注目していきたいと思えます。

特集 エコシティ仙台プロデュースプロジェクト スポーツボランティアにとっての環境問題
3のプロスポーツをつなぐごみ減量・リサイクル率アップの取り組み

いつかごみゼロをめざして

【エコシティ仙台プロデュースプロジェクトとは】 内容はMELON(みやぎ・環境とくらしネットワーク)HPより許可を得て転載
プロスポーツの試合を中心にごみ減量や環境問題への取り組みを行うプロジェクトです。

3つのプロスポーツ運営会社(ベガルタ仙台:株式会社東北ハンドレッド[フロント]、楽天イーグルス:株式会社楽天野球団[球団]、仙台
89ERS:株式会社仙台スポーツリンク[運営会社])と市民、企業、行政が横に連携したまちづくり組織において、環境面の取り組みを
MELONがサポートすることを理想としています。フィールドは、在仙の3つのプロスポーツが主催する試合会場です。

プロジェクトは、プロスポーツ運営会社が試合とリアルタイムで環境に配慮した興行を実施する方法を日々模索しています。プロスポーツ
運営会社が試合とリアルタイムで環境に配慮した興行を実施するために、プロスポーツ運営会社、ボランティア、行政、観客、売店・・・さ
まざまな立場の人たちが、「連携して環境に配慮すること」が必要です。本プロジェクトは、さまざまな立場の人たちが「連携して環境に配
慮すること」ができるよう、ネットワーク作りもしています。 <http://www.melon.or.jp/melon/contents/Section/eco-city/frame.htm>

【ベガルタ仙台的取り組み】

エコプロジェクトへの取り組み

「ユアテックスタジアム仙台を日本一きれいなスタジアムに」を目標としてクラブが率先してエコ活動に取り組んでいます。

ベガルタ仙台エコプロジェクトのページ <http://www.vegalta.co.jp/etc/eco.php>

取り組み事例

マイタンブラー 2003(平成15)年度に最初に売り出した12,000個は完売、毎試合約8,000個捨てられていた紙コップが半減し
ました。1,000人あたりの紙コップ数は2003年5月では417個、同年10月は243個と42%の削減になりました。
ピールの売り上げに対する1試合平均タンブラー使用率は2004年の調査で40%でした。

レジ袋削減 スタジアムの各売店でレジ袋削減を呼び掛けた結果、取り組みをする前には1店舗1試合約300枚近いレジ袋を
配布していたのが、05年10月調査では1店舗57.8枚という結果が！！

このほかにもエコバックの販売と活用や、サポーターへのアピールのための「横断幕」の活用、更に親子での体験企画なども実施

【楽天イーグルスの取り組み】

「エコスタジアムの実現」に向けて、球団が発足した2005年から取り組みがスタート、分別によるリサイクル率のアップや減量に取り組ん
でいます。スタジアムではエコステーションでボランティアが中心となって観客への呼びかけを行っています。各売店の責任者や球団職員
も毎年ボランティアに参加し、落ちているごみは全員で拾おうという基本からの取り組みが効果をあげ、いつもきれいな環境で観戦を楽し
んでいただいています。

取り組み事例



毎年進化するエコステーション



スタジアム内の容器は統一

「横断幕」での呼びかけ実施
マイカップの導入と活用
エコキッズ企画の実施

プロ野球初のエコ活動は全国に
広がりがうまれつつあります。

5P参照

【仙台89ERSの取り組み】

宮城の3つめのプロチームとして2005年に誕生したプロバスケットボールbjリーグの「仙台89ERS」、ここでもエコステーションが設置さ
れ、ごみの分別・リサイクル率アップの取り組みが行われています。更に、横断幕での呼びかけ
・エコキッズ企画の実施、ボランティア控え室での分別など、出来る限りごみの出ない・出さない
取り組みをすすめています。



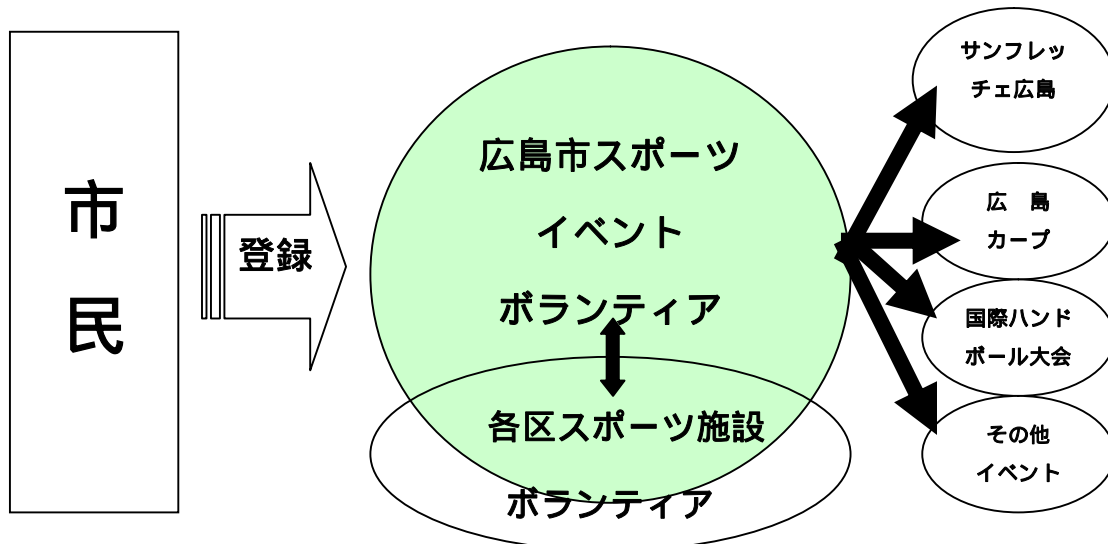
多様なスポーツを支える「広島市スポーツイベントボランティア」

「ボランティアがいると会場全体の挨拶が良くなるんです」、広島市スポーツ協会がボランティア事務局を担当する長谷川さんは、そうボランティアの効果をあげてくれました。モットーは「お客様をもてなす心を持って活動する」、ですから説得力があります。

広島市は瀬戸内海に臨む中国地方の中核都市であり、人口は約117万人となっています。しかし、ことスポーツに関してはその人口規模以上に昔から実力のあるさまざまなチームが活躍してきました。プロ野球の広島東洋カープ、サッカーJリーグのサンフレッチェ広島、ハンドボール男子の湧永製薬(本拠地は安芸高田市)、ハンドボール女子のメイプルレッツ、Vリーグ男子のJTサンダース、陸上の古豪中国電力、ソフトテニスのNTT西日本、この他にも女子ホッケーやバドミントンなど実に多彩なスポーツチームがあり、その多くが「TOPS広島」という組織に加盟し、地域のための活動に参加しているのです。

そのスポーツの盛んな町に、それを支えようという動きが市民から生まれたのは1994年に開催されたアジア競技大会にさかのぼるといいます。市民の意識の変化に対応する形で、2000年ピックアップでのJリーグの試合などをサポートする「ピックアップボランティア」の募集が活動が始まったのです。つまり、スタートはピックアップを拠点とする施設型であり、これを翌年「継続型・複数施設型」に発展させる形で現在の「広島市スポーツイベントボランティア」が組織化されました。現在、活動の中心はサッカーのサンフレッチェ広島であり、国際ハンドボール大会での運営サポートです。ここに今年から本格的にプロ野球の広島カープの活動が加わります。(2007年も一部のゲームでサポートしていました)その結果、「おそらく従来のサッカーが好きという方々以外に、野球が好きというボランティアの登録が増えるでしょうし、ゲーム数が多いため運営面の見直しが必要となる」可能性を事務局では想定しているようです。

そもそも広島市スポーツ協会は財団法人であり、さまざまな種目の協会、学区民体育団体などが加盟している組織です。前述の「TOPS広島」とも連携しスポーツの振興、競技力向上、育成事業など横断的なスポーツに対する視点を大切に活動を行ってきました。現在のボランティア活動が、単一の種目に偏らず幅広いスポーツを対象としていることは、こうした事務局を担当する組織との関わりが大きいと考えられます。さらに「広島市スポーツイベントボランティア」のもうひとつの特色として、希望すれば身近なスポーツ施設でのイベント補助を行うため、各区の「スポーツ施設ボランティア」にも登録することが可能となっていることがあげられます。



具体的な活動で担当する業務は、「入場口業務」「案内業務」「ごみ回収業務」など、他の地域のスポーツボランティアと大きな違いはありません。しかし、通常ボランティアに対し連絡や参加確認をしたり、ゲーム前後に説明や反省点の確認を行うのがイベントの主催者側スタッフであるのに対し、ボランティアの活動の都度スポーツ協会から参加する事務局メンバーがその業務を担当していることが最大の違いです。そのため、事務局の担当は実に多様な業務を受け持つことになります。事前に各スポーツイベントの運営責任者と業務の内容を確認し、ボランティアへの募集の呼びかけをし、当日の配置の確認やサポート、アンケートのまとめ、シーズン中の研修まで、運営主体とボランティアの間でさまざまな調整役を果たすのです。「メリットとして、中間で運営サイドやボランティアからの意見を聞き、調整機能を果たすことで、ダイレクトに要求がぶつかりあうよりも円滑にものごが進みます」、事務局の長谷川さんは笑ってそう話してくれましたが、多様な意見や要望の調整は苦労もまた多いのではないかと推察されます。

今後のポイントは「同一日にイベントが重なるケースが増えるため、如何に活動への参加意識を高めるか、また、イベント当日にボランティアが書いてくれているアンケートへの的確な対応を大切にするとともに、研修会や交流会などを通じてボランティアの自立に向けた動きを支援していく」予定であり、予算の確保、自立した組織の規約などの準備にも取り組み始めているということでした。従来、広島に近い形態を採用していた鹿嶋市がアントラーズのクラブ直轄のボランティア制度に2008年から変化した今、「継続型・複数施設・複数スポーツ型」の広島のボランティア活動が、今後どう展開するのか大いに注目したいものです。

FROM 札幌

北海道でプロ野球ボランティアが本格活動開始

昨年から活動がスタートしている「北海道日本ハムファイターズ」のボランティア活動が本格化しています。人気を反映してボランティア登録数も300名を越え、1ゲーム当たりの体制は約60名となかなか元気です。担当する業務は「車イスのお客様の誘導」「入り口ゲートでのサンプリング」「場内清掃」「事務局のサポート」「イベントの補助」となっています。

ボランティアはピブスとIDを着用し開場の1時間前に集合し、試合終了後30分をめやすとして控え室にて解散します。そのメインとなる「ごみの分別」活動では、色分けされた4色のリサイクルポスト(ごみ箱)がスタジアムの1Fコンコースと2Fコンコースに設置されており、そこに分別のサポートとしてボランティアが立ちます。緑色は「飲料用の紙コップ」、ブルーは「飲み残り・フタとストロー」、オレンジはリサイクルできる「紙トレイ/弁当箱」、そして赤色は「一般ごみ」となっています。

組織の名称は「ファイターズ・ボランティア・スタッフ」、今後のプロ野球ボランティア定着に向けて活動しています。

ファイターズ・ボランティア・スタッフ募集ホームページ

<http://www.fighters.co.jp/news/detail/24.html>

FROM 広島

現市民球場最期のシーズンを市民でサポート

(財)広島市スポーツ協会のボランティア登録数が増加しているといえます。4Pで紹介したように広島ではサッカー・野球などのイベント開催時に、スポーツ協会のボランティアに登録した方々がサポートしています。その中で昨年一部のゲームだけで実施したプロ野球の広島東洋カープのボランティア活動が今年から本格化し、参加するメニューが増えたこともボランティアへの応募者が増える要因になっていると思います。活動は主にゲート業務でチケットのもぎりやチラシ類などの配布を1ゲーム当たり30名体制で担当します。集合時間は試合開始の3時間前、7回終了時まで活動しその後片付けを行い反省会ののち解散となります。活動の希望者にはあらかじめ研修の中で活動のルール(特に対応)を徹底しています。

広島市スポーツ協会 ボランティアページ <http://www.sports-or.city.hiroshima.jp/attend/index.html#2>

FROM 仙台

楽天イーグルスボランティア～4シーズン目の活動がスタート

チームの誕生とともに成長してきた「楽天イーグルスボランティア」の4シーズン目の活動がスタートしました。毎年進化してきた「エコステーション」は今年から新しいデザイン(ごみ分別の種類をカラーで明確化)に変更され、同時に「ごみ袋の取り付け・紙コップの回収機能・わりばし回収の入れ物」など、いくつかの点で改善ははかられました。

エコ活動にスポンサー企業がついたり、スタジアム内で使用する容器を統一しコストを下げるために、スポンサー企業名をいれたり、球団の取り組みはきわめて斬新で合理的です。



ボランティアは一軍だけでなくKスタで開催される二軍戦をはじめ要請に基づき活動しており、ゲームの無い日に実施している「スタジアム見学案内」の活動も今年は増加しそうです。活動の基本は「人の和」ということで、お花見・芋煮会・ボランティア感謝祭などイベントも用意されています。



FROM NPB

グリーンベースボール・プロジェクト始動

NPB(日本野球機構)と12球団は、チーム・マイナス6%(環境省)と連携し、地球温暖化防止の活動を年間を通じて行うこととし、「グリーンベースボール・プロジェクト」をスタートさせました。具体的には自分たちの出来ることとして「試合時間の6%短縮」をかかげ、これにより年間で約209トンのCO2の削減を目標としています。同時に球団ごとにも取り組み項目を設定しました。

NPB2008 Green Baseball Project ホームページ <http://www.npb.or.jp/gbp/>

12球団活動内容 ホームページ <http://www.npb.or.jp/gbp/2008team.html>

SV2004
89ERSサポート

市民スポーツボランティア
SV2004は
bjリーグの仙台89ERSの
ボランティア活動を応援します



全国にプロバスケットボールのbjリーグが誕生して3年、多くのチームで誕生とともにボランティアが活動しています。スタート時は6チームでしたが、年々増えて現在は10チーム、既に2チーム(滋賀・浜松)の新年度からの参戦が決定しています。仙台を拠点として活動する「SV2004」は仙台89ERSのボランティア活動を誕生前からサポートしてきました。チームもプレーオフへの進出と東カンファレンスでの1位を確定し、着実に進歩をみせており、来場者の応援もヒートアップしています。今回は、この89ERSのボランティア活動とSV2004のサポートについて報告いたします。

【 89ERS ボランティアの活動 】 いつもお客様のそばで快適な観戦をサポート



アリーナパスポートの受付(入会とポイント付け)



入り口チケットもぎり・配布



エコ活動(ごみの分別・リサイクル促進)



ゲームのMVP選出応募



座席案内

この他の主な業務

- ゲーム終了後の清掃活動
- 指定席のチケットチェック
- 車いす観客の誘導・案内
- ボランティアの世話係り
- (受付・弁当や飲み物・備品管理など)

【 SV2004のサポート活動 】



ゲーム開催時ののぼりま設置と撤去



トイレ・受付などへの「花」企画



記録(活動日誌・写真撮影など)

現在リーダー制度がまだない89ERSのボランティア活動では、ボランティア説明会での活動紹介や、ゲーム当日早めに会場に入り運営責任者から当日のポイントを確認したり、ボランティアの声に耳を傾けて活動の改善に関する提案をしたりすることが大切になります。また、参加しているボランティアに対するアンケートを実施し、活動の改善につなげたり、チームと連携して研修会などのイベントに取り組んでいます。



SV2004について

【誕生の経緯】

SVとは、文字通り「スポーツボランティア」の略であり、1998年からスタートした「ブランメル仙台」（現在はJ2ベガルタ仙台）のボランティアや2001年の国体、2002年のワールドカップ宮城大会のボランティア経験者の有志が集まり、幅広いスポーツをボランティアとしてサポートする目的で2004年に発足しました。

役割（ミッション）

スポーツをより楽しくコーディネートし、ネットワークを通じて、環境改善にも取り組むことでスポーツの振興と、スポーツに関わる人々の社会的認知を高めることに貢献します。

私たちはスポーツのボランティア活動は「楽しく」あるべきだと思います
そのため、ボランティアと運営組織、ボランティア同士のコミュニケーションを大切にします
思いをともにする人々とのネットワークを構築します
活動するボランティア環境の改善、そしてエコ活動にも取り組みます
サポートするイベントが継続しよりよいものになるようサポートします
スポーツボランティアの活動が多くの人に理解し知っていただけるよう活動します

活動（アクション）

活動の記録・報告はSVホームページをご覧ください

スポーツ全般のコーディネート活動 … 楽天イーグルス・仙台89ERSボランティア組織立ち上げサポートなど
スポーツ及びボランティアのセミナー活動 … 接客・エコ・救命・災害・コミュニケーション・入門セミナーなど多数
スポーツに関する調査・企画・提案活動 … ボランティアアンケートの実施など
スポーツ情報発信活動 … SVニュース、ホームページからの情報発信など
スポーツネットワーク・交流活動 … 全国スポーツボランティアとの交流会の開催、東北スポーツボランティアサミットの開催
スポーツ環境改善活動 … チーム・マイナス6%との連動・エコステーションの普及取り組みなど

会員募集中！自主企画も含めたSV活動全般に参加する正会員とボランティア活動のみを行う準会員
・活動趣旨に賛同するサポート会員があります

【入会方法】

正会員 … 年会費3,000円 ・ 学生は1,500円（年度は4月～翌年3月となります）
準会員 … 年会費500円 サポート会員 … 年会費2,000円
お支払い方法…郵便振込み 郵便口座 18190-25930651 SV2004まで（振込み料はご負担願います）
または、SVが主催するイベント会場にて入会を受け付けます。（イベントはホームページでご案内します）
申し込み先 郵送の場合 〒980-0811 仙台市一番町4丁目1-3 仙台市市民活動サポートセンター SV2004
レターケースNO.50（必ずレターケースNOをご記入ください）
メールの場合 izumita@dm.mbn.or.jp FAX 022-274-1469
申し込み書はホームページよりダウンロードできます <http://www.miyagi-sports.net/sv2004>

多くのチームでボランティアを募集中です

プロバスケットボール Bjリーグ・ボランティア < 各チームの公式ホームページより >

【 仙台 89ERS 】 ボランティアページ <http://www.89ers.jp/volunteer/index.html>

【新潟アルビレックス】 運営スタッフページ <http://www.albirex.com/volunteer/index.html>

【 富山グラウジーズ 】 ボランティアページ <http://bj-gr.jp/info/volunteer.html>

【 埼玉ブロンコス 】 ボランティアページ <http://www.saitamabroncos.com/07-08volunteer.htm>

【 東京アパッチ 】 ボランティアページ <https://gt106.secure.ne.jp/gt106166/07-08volunteer/>

【 大阪エヴェッサ 】 サポートスタッフ ページ <http://www.evessa.com/cgi-bin/topics.cgi?516>

【 高松ファイブアローズ 】 ホームページ上にはページをみつけられませんでした。

【 ライジング福岡 】 ボランティアスタッフページ <http://rizing-fukuoka.com/intern.html>

【 大分ヒートデビルズ 】 ホームページ上にはページをみつけられませんでした。

【 琉球ゴールデンキングス 】 ボランティアスタッフページ <http://www.okinawa-basketball.jp/kings/volunteer/index.html>

< 2008-2009 シーズンよりbjリーグに参加予定 >

【 浜松フェニックス 】 ホームページ上にはページをみつけられませんでした。

【 滋賀レイクスターズ】 ボランティアスタッフページ <http://www.bj-shiga.com/staff.htm>

(注意) 内容は08年3月27日段階のもので、各チームの都合により変更される場合がありますのでご了承ください。

THANKS < 今月号のSVニュースの発行に対し協力いただいた皆様、ありがとうございました。 : 敬称略 >

長谷川 薫 亀田 武志 仲野 隆士 仙台89ERS 坂井 法子

**スポーツボランティアの前向きな情報(募集・活動報告など)
を募集いたします。経験をいかし、成功事例を学ぶ場として
SVニュース活用願います。(提供先は下記に記載)**

書籍紹介

「スポーツ・ボランティアへの招待」

～ 新しいスポーツ文化の可能性

編者 山口 泰雄 出版社名 世界思想社

スポーツのボランティア活動に関連した本がなかなかないと不満に思っていたところ、表題の本を紹介していただきました。国内編では、スポーツのボランティアが活動している分野ごとに現状がまとめられています。「総合型スポーツクラブ」「少年スポーツ」「スポーツイベント」「障害者スポーツ」「企業」「国体」「Jリーグ」「ワールドカップ」、まずこれだけ多くの分野で活動している仲間がいることに励まされます。次に国外編ではヨーロッパ・オセアニア・北米に分けて、ボランティア先進国ともいえる人々の活動を紹介します。中にはどのような方法でボランティアを増やすかなど具体的に参考になる事例が掲載されています。

購入はインターネットのアマゾンなどで可能です。

編集後記

創刊号を作成するにあたり何人かのボランティア仲間と情報の交換をしました。この第2号を作成するについても、各地のスポーツボランティアに関わる皆様より、情報やご意見をいただきましたが、好意的な内容が多く非常に励みになっています。ありがとうございます。スポーツのボランティア活動は、なかなか記録として残らないものです。せめて今からでも、出来るところからでもたくさんの人の足跡を残せれば、それはきっと次につながると信じています。この情報紙が本当に活用できるものとするには、多くの皆様の協力が不可欠です。「思い」を「形」に、皆さんのスポーツボランティアの活動が素晴らしいものになりますように。

このSVニュースはSV2004の公式ホームページでもご覧になれます。

<http://www.miyagi-sports.net/sv2004/index.php>

スポーツボランティア活動に関する情報をお寄せください。また、毎月発行する「SVニュース」を定期的にご覧になりたい方は、所属・氏名・住所・電話番号・E-mailアドレスを記入の上、メルタイトルに「SVニュース購読」と記載のうえ下記アドレスにお申込下さい。

情報提供・定期購読申込先 izumita@dm.mbn.or.jp